



中央診療部

Central Clinical Facilities

検査部 *Clinical Laboratory*

<http://lab-tky.umin.jp/>

質の高い検査結果を提供するのが本務であるが、検査の自動化・標準化、新しい検査法の開発・改良、各種病態の解析などの研究にも力を注いでいる。

- 検査オートメーションシステム
- 白血球遺伝子・薬剤応答性遺伝子解析の臨床応用
- 生理活性物質の解析とその臨床検査医学的応用
- 超音波による心機能の解析
- 呼吸機能と各種病態との関連
- 脳磁図を用いた脳機能の探索



検査部オートメーションシステム

手術部 *Surgical Center*

<http://www.h.u-tokyo.ac.jp/patient/depts/syujutsu.html>

昭和 30 年（1955 年）7 月に我が国における大学病院手術室の中央化実施の最初の例として開設された。昭和 62 年（1987 年）10 月に新手術部の第 I 期計画として 12 の手術室が新中央診療棟 4 階に完成した。平成 13 年 7 月の本院と分院との統合にともない、本院手術部と分院手術部が統合された。さらに平成 13 年 9 月の新病棟開設により手術件数は急増し、平成 13 年度の年間総手術件数は 5435 例（うち救急手術は、914 例）であった。平成 18 年の総手術件数は 8322 件であった。平成 18 年秋には中央診療棟 2 に手術室が 11 室増設され、平成 19 年 1 月から新たな手術室が稼働した。平成 20 年の総手術件数は 9868 件であり、材料管理部との密接な連携のもと手術部の管理運営を行っている。

現在の手術部教官は、安原洋部長、小松孝美副部長、三村芳和准教授、深柄和彦准教授、上寺祐之寄附講座准教授、福島亮治非常勤講師、大林俊彦助教、齋藤祐平助教である。主な業務は、手術部の安全かつ効率的な運営および管理、医学部生、研修医、看護師、臨床工学技士などへの手術医学の教育、手術医学の研究である。研究内容は以下のようなものである。

- 手術の安全確保、リスクマネジメントについて
- 手術計画の効率化について ● 洗浄・消毒・滅菌法
- 手術空調工学 ● 手術医療経済学 ● 周手術期の感染制御
- 手術室電気安全工学（ME 機器を含む） ● 手術材料工学
- 映像、画像の高度処理方法の研究



UMINは、国際的にも類例のない、大規模かつ多機能な公的医学情報サービスセンターで、登録利用者約30万名、WWWアクセス件数月間5,000万ページビュー以上に達しています。国立大学附属病院長会議大学病院医療情報ネットワーク協議会の定めた方針のもとで運営されています。

- 主要な情報サービス
 - 医療・生物学系電子図書館(ELBIS)
 - インターネット医学研究データセンター(INDICE)
 - オンライン臨床研修評価システム(EPOC)
 - オンライン歯科臨床研修評価システム(Debut)
- 主要な研究内容
 - ヘルスコミュニケーション
 - 科学コミュニケーション
 - 臨床・疫学研究のための情報システム
 - 情報ネットワークセキュリティ

